

伊達市×Chembe 村 国際シンポジウム 2025 「地域イノベーターたちの実践に学ぶ」

【内容】

シンポジウムのキーワードは「つながり」。農業から始まり多くの異なるセクター・人々のつながりがうまれていく／うみだすプロセスを浮き彫りにします。

農業を中心に独創的な活動を展開しているイノベーターの皆さんを、伊達とアフリカのマラウイ共和国から迎え、3つのセッションをつうじて、農業から始まって地域に新しい人々のネットワークが生まれ、変容し、地域を変えていくプロセスを紹介します。

セッション1では、自然農業と機械化農業という全く違った側面で先端的な活動を展開している人々に、その実践の魅力とそこから生まれる新たな人々のつながりを紹介していただきます。セッション2では、多様なカタチの農業から生まれる販路や協働のネットワークの多様性をつうじて、地域の課題に根差した新たな取り組みが生まれるプロセスを紹介します。セッション3では、このような様々な事例の中で、とくに人々の新たなつながりをつくりだすために重要な役割を果たしてきた人々に、自らの経験を振り返っていただき、人々のつながりを深め拡大していくためのヒントを紹介していただきます。2日目後半のラウンドテーブルでは、各セッションのお話を振り返り、多様な農業のあり方とそこから生まれる人々のネットワークの重要性をみんなで考えましょう。シンポジウム全体をつうじて、伊達市の豊かで幸せて持続可能な未来をつくりあげていくきっかけが得られることを期待しています。

【日程】※プログラムの進行状況等で終了時刻は変わる場合がございます。

2025年10月25日（土）14時～20時30分（日本時間）

2025年10月26日（日）13時～16時40分（日本時間）

【会場】

市民活動センター多目的ホール（伊達市鹿島町20-1）とZoomのハイブリッド

※言語は日本語もしくは英語（逐次通訳付）

ZoomのURL: <https://us06web.zoom.us/j/86499580457?pwd=IbxYubIWS4qsw0FjIzZLGdszuc0Dy2.I>

【服装】

自由（スーツ不要）

【参加費】

無料（シンポジウムへの事前申込は不要です。ふらっとお立ち寄りください）

【懇親会】

日時：2025年10月25日（土）19時00分～20時30分

会場：DATTEL（伊達市末永町33-3）

会費：おひとり6000円を予定（高校生以下は2500円を予定）

※申込者に改めてご案内します

申込方法：QRコードから申込下さい

（懇親会申込期限：2025年10月17日（金））



【主催】

だてプロ

（だてプロは、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」（研究推進法人：JST）によって実施されています）

プログラム

1 日目：2025 年 10 月 25 日（土）14:00～20:30（懇親会：19:00～20:30）

14:00-14:10 開会あいさつ

室蘭工業大学・山中真也

Session 1

2つの先端農業技術の開発と実践

14:15-14:55 自然農法と訪問販売を起点とする地産地消サプライチェーンをつうじた農家と消費者のつながり

館山農園・館山大輝

14:55-15:20 リサイクルを組込んだ環境保全型農業の実践による多様な人々とのつながり
Sustainable Cape Maclear・N. S. Chanza

15:20-15:45 先端農業プロジェクト開発による新たなコミュニティ形成の可能性
(株) あさい農園・浅井雄一郎

15:45-16:00 休憩

Session 2

農業のあり方の多様性とそれを支えるネットワーク

16:05-16:30 半農半フリーランス営業をつうじた生き方の探索と人々との協働
Farm & Firm かたもと・形本真吾

16:30-16:55 魅力的な商品開発と六次産業化を可能にする人々のつながり
アップデート (株)・梅津国英

16:55-17:20 危機の中でうまれたコミュニティ農園での実践と学び
Sustainable Cape Maclear・J. B. Matewere

17:20-17:30 休憩

17:30-17:55 特産農産物の生産への挑戦と社会福祉セクターとの連携
(株) 矢野農園・矢野徳幸

17:55-18:20 多様な販路の構築とそれを通じた次世代へのバトンタッチ
(株) マルシメおぬき・小貫豊, 熊谷智哉

18:20-18:30 初日閉会のあいさつ

室蘭工業大学・山中真也

19:00-20:30 懇親会（会場：DATTEL）

※DATTEL はシンポジウム会場から徒歩 10 分程度

※事前申込へのご協力をお願いします

2日目：2025年10月26日（日）13:00～16:40

Sesson 3

つながりをつくる人々

13:05-13:30 えったま栽培と農福観連携を通じたネットワークづくり

農家の手伝い ねこの手ちょこっと・金田光弘

13:30-13:55 誇りと愛着を高める特産農産物の可能性：えったまを事例として

室蘭工業大学・石橋弘之

農家の手伝い ねこの手ちょこっと・金田光弘

13:55-14:20 Cape Maclear 物語：ローカルレストランから始まる農家と観光のつながり

SATREPS IntNRMS Project・草苅康子

Sustainable Cape Maclear・J. B. Matewere

14:20-14:30 休憩

14:30-15:30 ラウンドテーブル

3つのテーマごとに話し手と共に考える場です。参加者はどの円卓でも自由に参加いただけます

テーマ1 2つの先端農業技術の開発と実践

テーマ2 農業のあり方の多様性とそれを支えるネットワーク

テーマ3 つながりをつくる人々

15:45-16:30 全体討議

テーマ「伊達市の豊かで幸せで持続可能な未来」

ファシリテーター 愛媛大学，佐藤哲

16:30-16:40 閉会あいさつ

室蘭工業大学・山中真也